



## 大崎町畜産振興大会を 開催！

2月18日(日)、そお鹿児島農協大崎支店2階大ホールにおいて、大崎町畜産振興協議会主催の「大崎町畜産振興大会」が開催され、約100名の農家の皆さまが参加しました。

この大会は、本町畜産の振興を図り発展することや本年度に開催された共進会等で優秀な成績を収めた方や、これまでに功績のあった方に対して表彰することを目的として開催しています。

畜産表彰では昨年9月におこなわれた「第72回鹿児島県畜産共進会」に出場した西野正治さん、村岡健一郎さんを表彰し、講演会では森山裕衆議院議員による「畜産をめぐる情勢」、鹿児島県経済連の上村利久さんによる「セリ市購買者に求められる子牛づくり」について御講演がありました。



### 4コマ漫画ぼっけもんを寄贈

3月1日(金)、佐藤広子さんから4コマ漫画「ぼっけもん」を寄贈していただきました。

「ぼっけもん」は、「広報おおさき」に平成9年7月号から連載し令和4年6月号で300回を迎え、それを記念して発刊した単行本です。

佐藤さんは、令和5年3月末に役場を定年退職されましたが現在も連載を続けています。「町内の子どもたちに喜んだり、楽しんでほしい。ぜひ読んでほしい」と話されました。

町内の小・中学校へ3冊ずつ配布される予定です。



### 「SOSの出し方」をみんなで学びました

2月22日(木)、持留小学校において、5・6年生を対象にSOSの出し方授業がおこなわれました。大崎町の地域自殺対策強化事業の取り組みの一環で開催したもので、中央大学人文科学研究所 客員研究員の高橋聡美先生をお招きし『自分とだれかを大切にするために』というテーマでお話をしていただきました。体験談を踏まえたお話をされ、生きていく中で起こる環境のさまざまな変化などでこころのキズが生じるとし、「そんな時は自分が大事な人や物事が支えてくれる。すり傷と同じで早く手当すると治りが早い」「大人に相談しよう。解決策をたくさん知っています」などと話されました。子どもたちは真剣な表情で授業に取り組んでいました。